

2005年(平成17年)3月期



決算説明会

2005年5月16日

石油資源開発株式会社



ご注意事項

本資料もしくは本日お渡しする資料に含まれているデータのうち、歴史的事実でないものは、現時点における当社の見通しを示したものです。実際の業績は、ここに示された見通しから大きく乖離することがあります。

本資料は投資勧誘を目的としたものではありません。

Copyright: 本資料に含まれる全ての表、チャート、グラフ、図表等に関する著作権は当社が有しています。事前の承諾なく、これらの内容を複製もしくは転載することはお控えください。

本資料において (a) は実績数値を、(e) は予想数値を示しています。

本資料に関するお問い合わせ、その他IRに関するご質問は、
石油資源開発株式会社 企画室IRグループ（電話：03-5461-7481）までお願いいたします。



アジェンダ

- ・ **事業の概況**

代表取締役社長 棚橋 祐治

- ・ **2005年3月期 実績**

取締役経理部長 佐藤 弘

- ・ **2006年3月期 業績見通し**

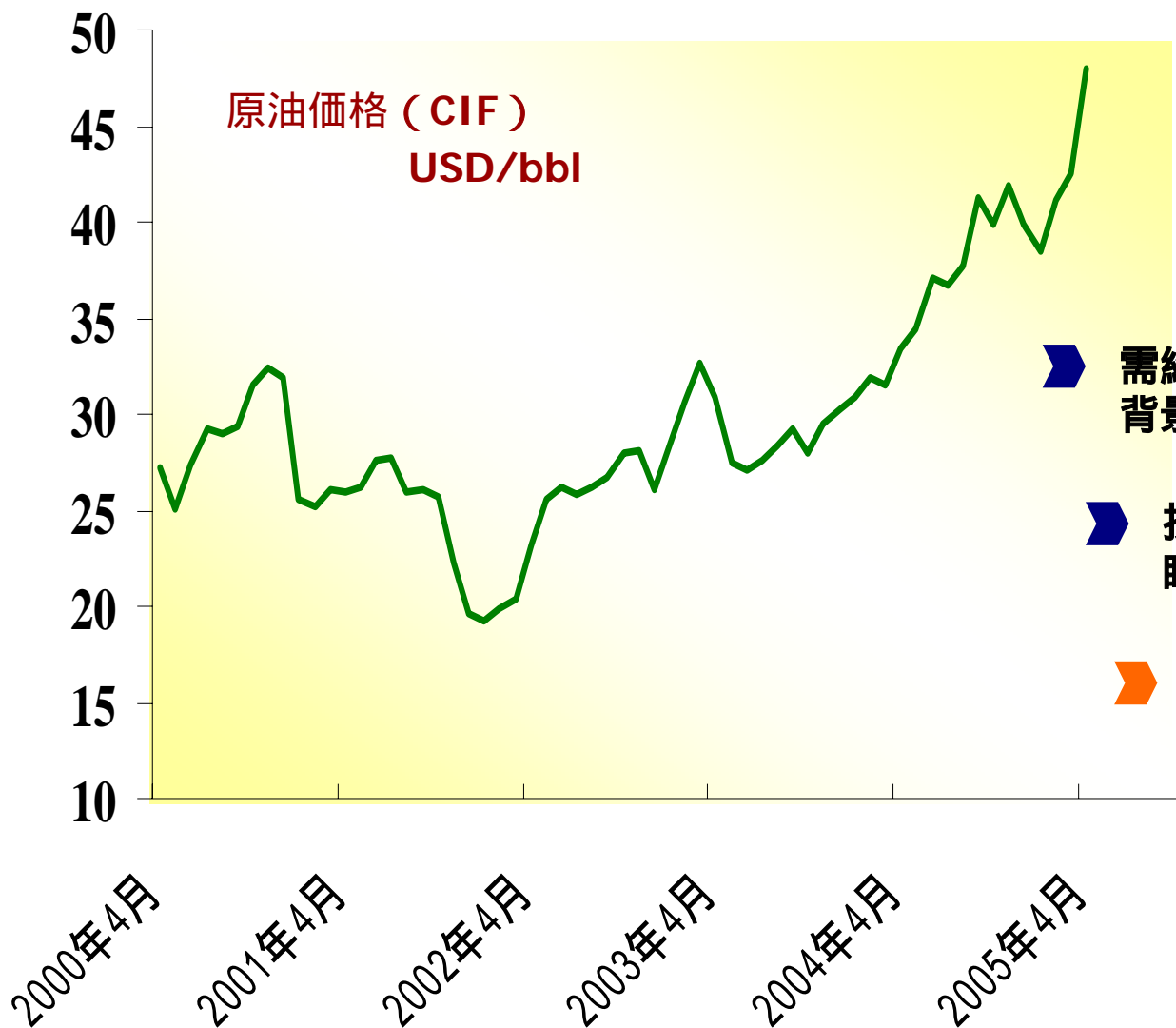
取締役経理部長 佐藤 弘



事業の概況

代表取締役社長 棚橋 祐治

原油価格の動き



▶ 需給逼迫と精製能力不足を背景に高止まり続く。

▶ 投機資金も流入、製品在庫を睨みながらボラタイルな動き。

▶ 05年4月の円建CIFは、86年以来 19年ぶりの3万円台に。

事業の概況

05/3 (a), 06/3 (e) - サマリー

百万円	03/3 (a)	04/3 (a)	05/3 (a)	06/3 (e)
売上高	90,683	96,713	103,150	96,897
経常利益	12,769	14,468	19,001	18,630
当期純利益	8,828	9,960	13,234	13,615

05/3 期実績

- ✓ 堅調な油価を背景に増収増益。

04/3期 (a)	05/3期 (a)
29.37\$/bbl	38.18\$/bbl

- ✓ 天然ガス販売も好調、予想上回る。

05/3期 当初予想	05/3期 実績
1,206 百万m3	1,276 百万m3

06/3 期予想

- ✓ 国産原油、天然ガス販売は堅調。

06/3期 前提油価	42 \$/bbl
06/3期 ガス販売計画	1,284 百万m3

- ✓ 高水準の探鉱投資で利益は横ばい。

05/3期 (a)	06/3期 (e)
6,127 百万円	8,687 百万円

事業方針と投資計画

探鉱投資

- ✓ 引き続き 今後3年程度を 国内探鉱の重点実施期間と位置付け。
- ✓ 既存油ガス田周辺のフィールドグロースと、新規・大規模埋蔵量を志向した探鉱との組合せ。
- ✓ 今後3年間で 200～250 億円程度の国内探鉱を計画。

設備投資

- ✓ 生産能力、輸送能力増強に向けて、積極的投資を継続。
- ✓ 郡山パイプライン建設をテコに、新規需要の獲得に注力。
- ✓ 今後3年間で 500～600 億円程度の設備投資を計画。

海外投資

- ✓ 石油公団保有のプロジェクト会社株式取得で3社を新たに連結化、投資額 約140億円。
- ✓ 中東、北アフリカ、東南アジア等を重点地域に位置付け、新規案件の獲得を目指す。

事業の概況

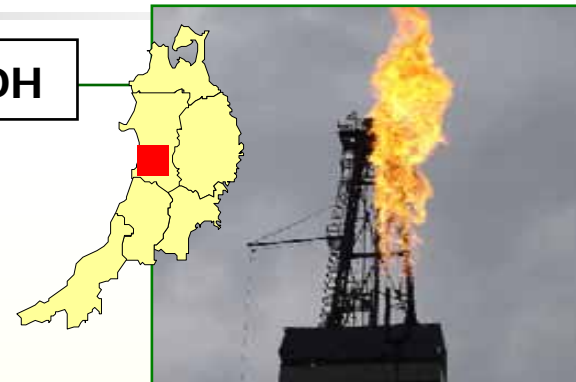
05/3期 探鉱実績

05/3期 概況

- ・ 由利原、東新潟での探掘成功
- ・ 岩船沖西 MS-1 試掘作業
作業継続中
- ・ 胆振沖3D 震探データ取得
06/3期で試掘に着手
- ・ 探鉱費用(05/3期実績)は61億円

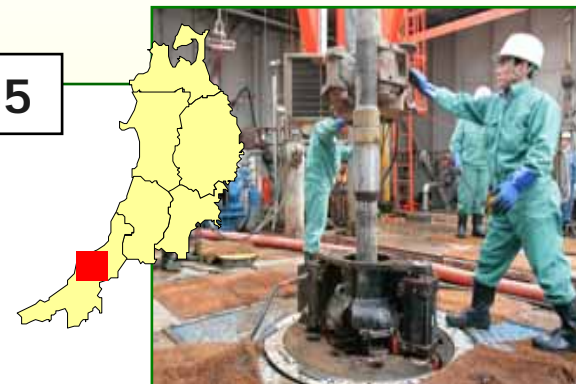
探掘 由利原SK-17DH

2004年 7月～9月
3,025 m



探掘 東新潟 MS-45

2005年 1月～4月
3,970 m



物探 胆振沖 3D

2004年 7月～8月
3D 震探 410km²



事業の概況

06/3期 試探掘計画

試掘 沼ノ端 (T1) 東B1

05/3期より継続

試掘 由利原 SK-18D

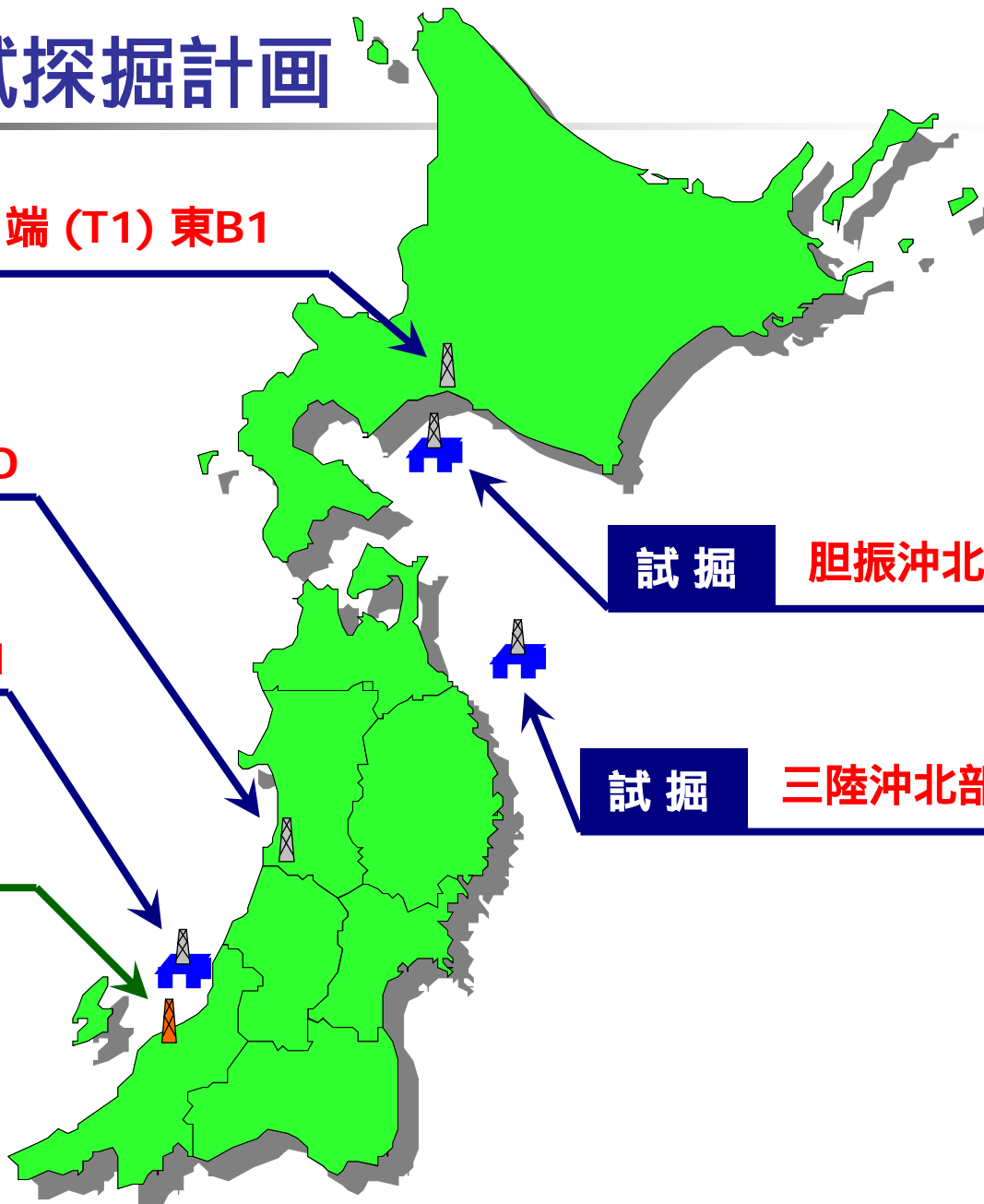
05/3期より継続

試掘 岩船沖西 MS-1

探掘 東新潟 MS-46

試掘 胆振沖北部 A

試掘 三陸沖北部 JSN-1



事業の概況

06/3期 探鉱計画

試掘		05/3期		06/3期		
		4Q	1Q	2Q	3Q	4Q
由利原 SK-18D	3,430m					
岩船沖西 MS-1	4,000m					
三陸沖北部 JSN-1	4,600m					
胆振沖北部 A	2,600m					
沼ノ端 (T1) 東B1	2,260m					

探掘						
東新潟 MS-45	3,970m					
東新潟 MS-46	3,500m					

物探 北蒲原沖合3Dなど、計 6 班の調査を計画。

事業の概況

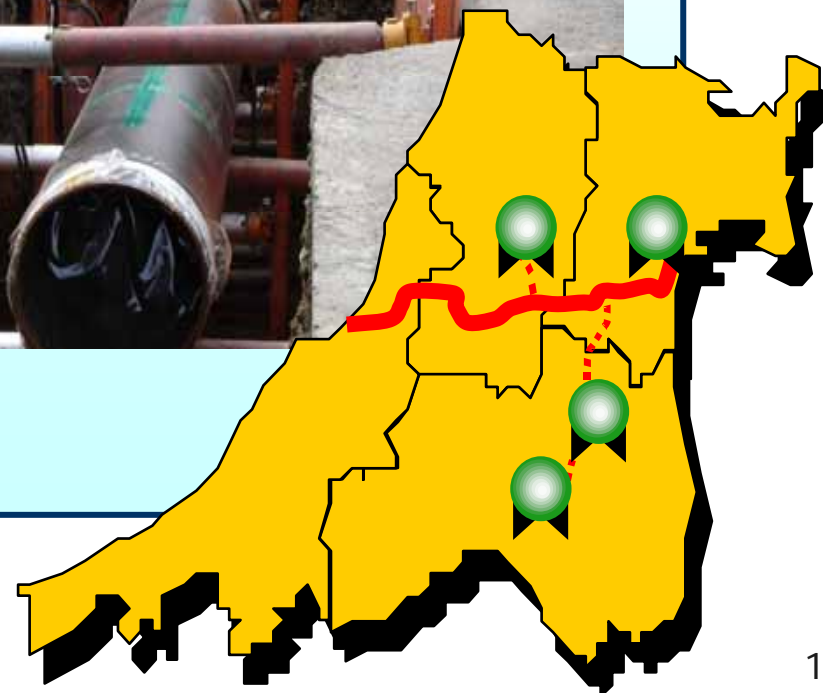
郡山パイプライン建設着工

設備の概要

白石～郡山 95km
輸送能力：200万m³/d
操業開始：2007年3月

総工費： 約200億円
(当社80%、東北電力(株)20%)

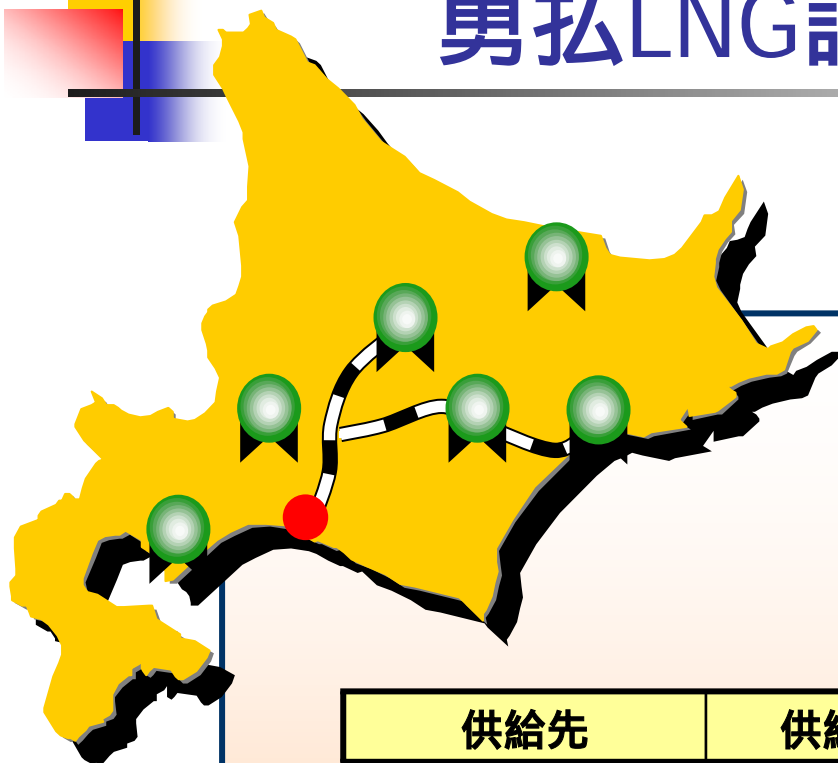
供給先	供給開始
福島ガス(株)	2007年(予定)
東部ガス(株) 福島支社	2007年(予定)



注：東部ガス(株)福島支社に対しては、LNGサテライトにより1999年4月から供給を行っている。

事業の概況

勇払LNG設備の増設



設備の概要

第1系列 (既存)

作液能力 150 トン/日

貯蔵能力 1,000トン

第2系列 (増設計画)

作液能力 200 トン/日

貯蔵能力 1,400トン

操業開始 2007年(予定)

供給先	供給開始
旭川ガス(株)	2003年 10月
帯広ガス(株)	2007年(予定)
岩見沢ガス(株)	2007年(予定)
釧路ガス(株)	2008年(予定)
北見市	協議中
室蘭ガス(株)	協議中

事業の概況

設備投資計画

	03/3 (a)	04/3 (a)	05/3 (a)	06/3 (e)	07/3 (e)	08/3 (e)
減価償却費 (億円)	98	110	140	143	150	150
設備投資 (億円)	119	157	119	252	150 ~ 200	100 ~ 150
勇払 施設増強工事 *1	■			■	- - - - -	
勇払 LNG 製造設備	■			■		
探掘井 掘さく工事 *2	■			■	- - - - -	
郡山パイプライン建設			■			
由利原 生産能力増強		■				

注 - - - 部分は未定。

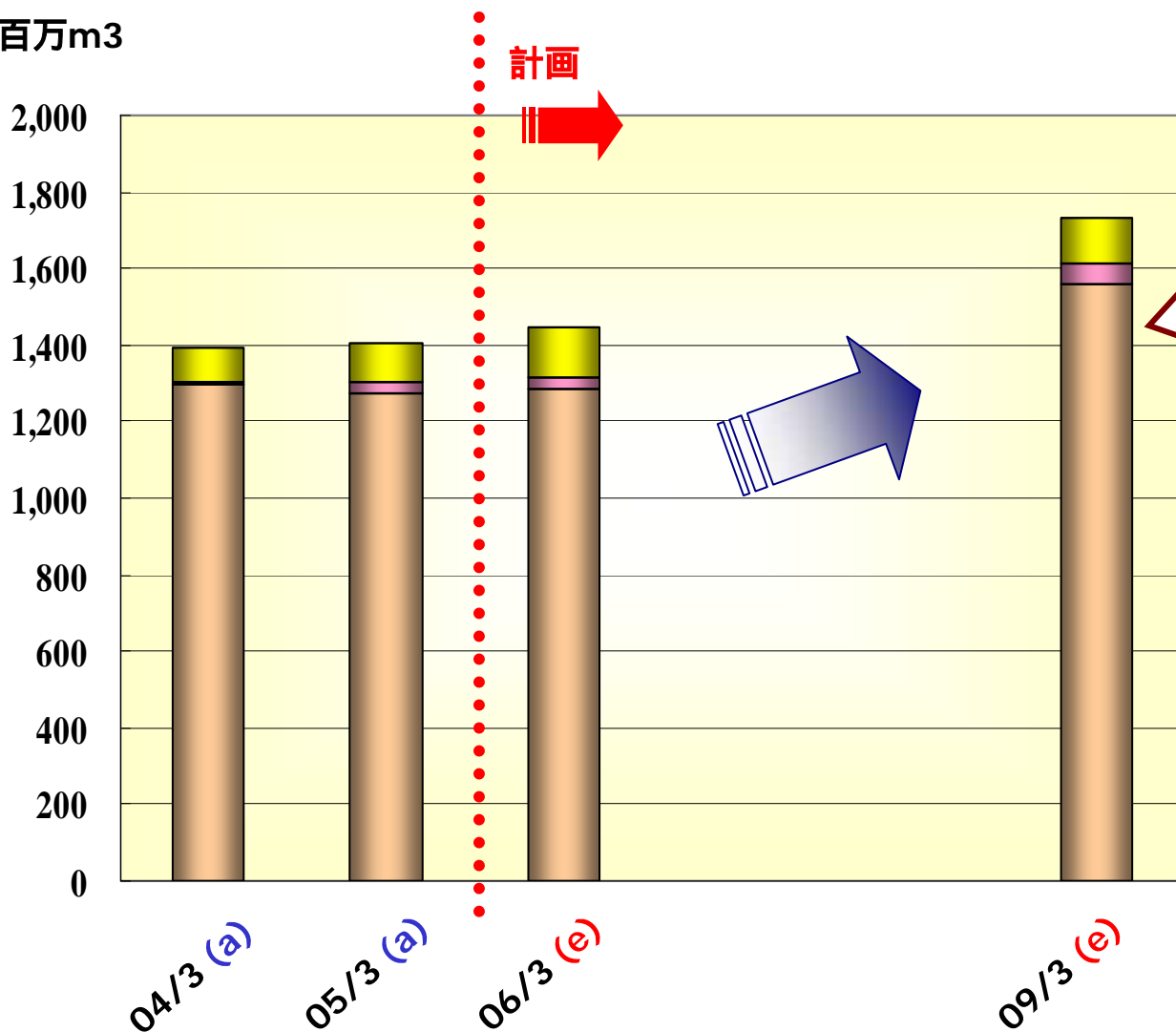
*1 勇払鉱場の施設増強については、04/3期までに第3トレイン建設、自噴線敷設、貯油タンク増設、海上出荷設備建設などを実施。06/3期では敷地拡張用の土地取得、一部設備の増強、環境対策工事等を計画。

*2 試掘井、探掘井は探鉱費用で計上するが、探掘井は固定資産に計上のうえ3年で償却。片貝SK-26D (04/3期)、勇払油ガス田の沼ノ端A7 (06/3期計画、4,400m) 等。

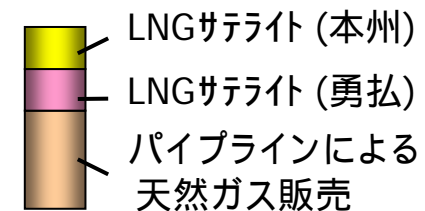
事業の概況

天然ガス 生産・販売計画

百万m³



ガス販売量



LNGサテライト販売は、
実際の販売数量(トン)を
1,300m³/トンで換算。

事業の概況

海外事業 - 新規連結子会社

新南海石油開発

中国珠江口沖における原油生産

ジャワ石油

国営石油会社への開発資金貸付け

カナダオイルサンド

アルバータ州でのピチューメン生産

石油公団保有株式の取得による新たな連結子会社

会社名	原油生産量 ^{*1}	当社の株式保有割合 ^{*2}	取得額
新南海石油開発 (株)	214 千kl	32.0% → 82.0%	23.5 億円
ジャワ石油 (株)	-	17.5% → 67.5%	32.8 億円
カナダオイルサンド (株)	410 千kl	8.0% → 88.0%	83.1 億円

*1 生産量は2004年1月～12月の年間実績で権益相当分。ジャワ石油(株)は資金貸付事業のため生産量を記載せず。

*2 カナダオイルサンドの株式保有割合は、当社の子会社保有分(1.34%)を含む。また、カナダオイルサンドの現在の株式保有割合(88.0%)及び取得額(83.1億円)には、石油公団以外からの取得分を含む。

事業の概況

海外事業 - 重点地域

北アフリカ

鉱区開放の動きをとらえた新規案件の獲得

サハリン

サハリン1 プロジェクトの価値最大化

カナダ

オイルサンド事業を中心に収益確保

中東

事業機会の獲得に向け産油国との関係強化

東南アジア

インドネシア等での新規案件の発掘







2005年3月期 実績




取締役経理部長 佐藤 弘

05/3期 実績

決算サマリー

百万円	04年3月期 実績	05年3月期		
		当初見通し 04/5/17公表	修正見通し 04/11/15公表	確定値 05/5/16発表
売上高	96,713	84,163	99,558	103,150
経常利益	14,468	11,313	16,470	19,001
当期純利益	9,960	9,556	11,043	13,234

 国産原油・国産ガス 51 億円
 海外事業の利益増加 19 億円
 償却費など費用増加
 税金費用増加、震災関係特損など

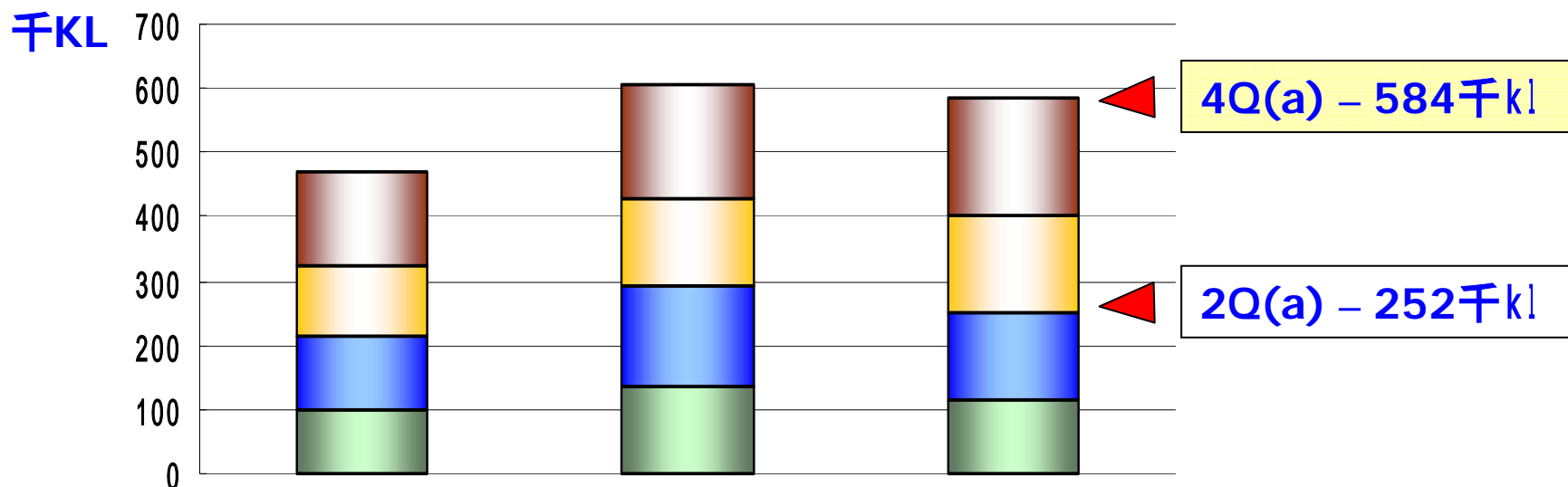
 国産原油・国産ガス 5 億円
 国内探鉱費の減 6.⁸ 億円
 海投損の新規引当 減 5 億円

 増益要因

 減益要因

05/3期 実績

国産原油販売



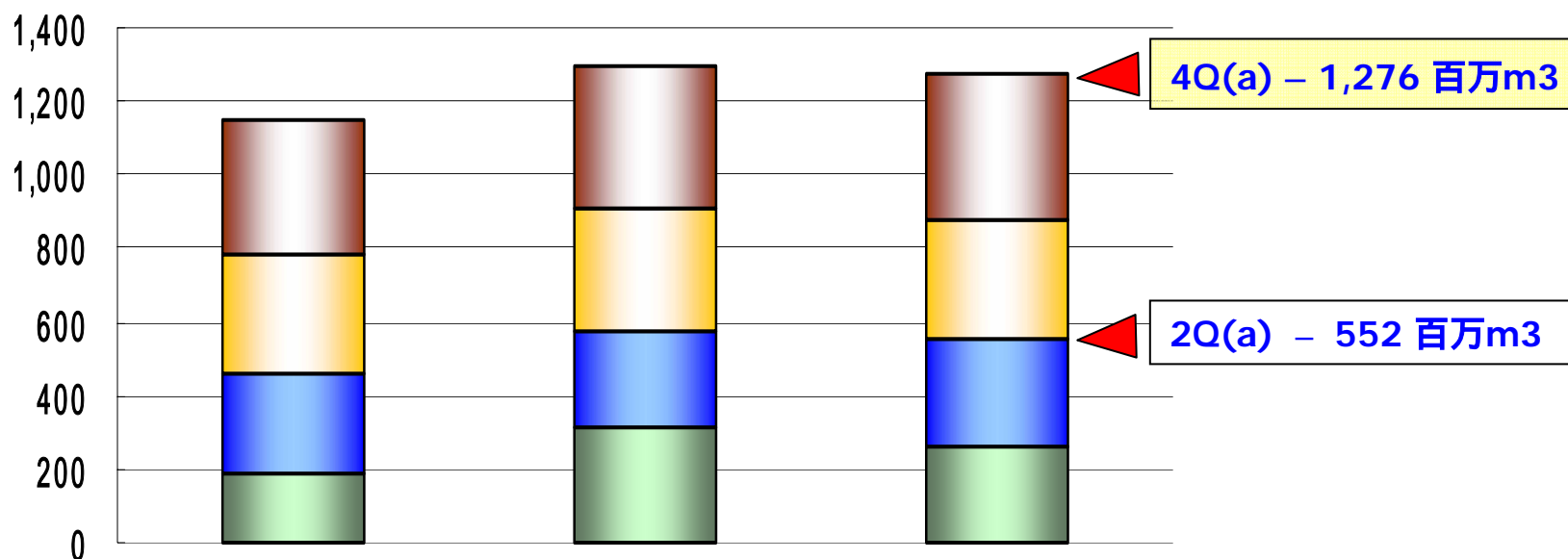
	03/3 (a)	04/3 (a)		05/3 (a)		増減 通期
	通期	中間期	通期	中間期	通期	
販売数量(千KL)	472	293	606	252	584	21
単価(Yen/KL)	@21,680	@21,016	@21,071	@25,679	@26,023	+ 4,952
油価 CIF (\$/bbl)	26.50	28.67	29.37	35.24	38.18	+8.81
為替(Yen/\$)	122.86	118.62	113.71	109.34	107.26	6.45
売上高(百万円)	10,237	6,169	12,784	6,475	15,217	+ 2,433

注：本資料における「国産原油」「国産天然ガス」の販売量及び売上高は、連結子会社(日本海洋石油資源開発(株))からの仕入販売分を含む、当社単体決算の数値を記載している。

05/3期 実績

天然ガス販売

百万m3



	03/3 (a)		04/3 (a)		05/3 (a)		増減 通期
	通期	中間期	通期	中間期	通期		
販売数量 (百万m3)	1,154	571	1,296	552	1,276	19	
売上高 (百万円)	41,479	18,750	42,560	16,568	39,867	2,692	
平均単価 (円/m3)	@35.92	@32.81	@32.83	@29.97	@31.22	1.61	
当社国産ガス 販売量	976	442	1,024	457	1,057	+32	
〃 売上高	35,218	14,578	33,813	13,647	32,750	1,062	

05/3期 実績

連結PL変動要因

百万円	04/3 (a)	05/3 (a)	増減
売上高	96,713	103,150	+6,436
売上総利益	38,653	42,104	+3,450
探鉱費	5,213	6,127	+ 914
販管費	20,990	21,298	+ 308
営業利益	12,449	14,678	+2,228
営業外損益	2,018	4,323	+2,304
国内 (持分益)	101	373	475
海外 (新規) *1	205	70	+ 135
海外 (既存) *2	737	1,936	+ 1,199
海外 (その他) *3	221	464	+ 686
その他	1,606	2,365	+ 758
経常利益	14,468	19,001	+4,533
当期純利益	9,960	13,234	+3,273

国産原油販売 + 24 億円

国産ガス販売 10 億円

託送収入 + 24 億円

探鉱費増加 9 億円

生産操業部門の
償却費増加 30 億円

海外新規連結寄与 +23 億円

海外プロジェクト会社の持分益
増加、引当金の戻入れ増加。

震災関係費・坑井除却など、
特別損益の悪化 6 億円

*1 海外プロジェクト会社への新規出資に伴う引当金の繰入額。

*2 海外既存プロジェクトの持分損益と引当金調整額の計。ただし連結子会社を除く。

*3 連結子会社に対する事業損失引当金の調整額並びに連結調整勘定償却額。

変動要因の説明は、増益要因を+で、
減益要因を-で記載。



2006年3月期 業績見通し

取締役経理部長 佐藤 弘

06/3期 見通し

業績見通し - 概要

百万円	1H (e)	2H (e)	通 期
売上高	44,325	52,572	96,897
売上総利益	21,701	25,953	47,654
探鉱費用	5,582	3,105	8,687
販管費	11,686	11,986	23,672
営業利益	4,433	10,862	15,295
営業外損益	2,919	416	3,335
経常利益	7,352	11,278	18,630
特別損益	34	154	120
税金費用	649	3,709	4,358
少数株主利益	388	390	778
当期純利益	6,282	7,333	13,615

原油価格(CIF)、為替の前提

1Q	48\$/bbl, 107円/\$
2Q - 4Q	40\$/bbl, 100円/\$
通期平均	42\$/bbl, 102円/\$

事業部門別 売上構成

	1H (e)	2H (e)	通 期
原油・天然ガス	35,765	43,329	79,094
請負事業	3,660	4,012	7,672
その他事業	4,900	5,232	10,132

掘さく作業の大半を上期に実施

p.10 参照

税金費用は下期に集中





06/3期 見通し

業績見通し - 前期比 主要ポイント

百万円

	05/3 (a)		06/3 (e)		増減	
	中間期	通期	中間期	通期	中間期	通期
売上高	46,371	103,150	44,325	96,897	2,046	6,253
営業利益	3,139	14,678	4,433	15,295	+ 1,294	+ 617
経常利益	7,259	19,001	7,352	18,630	+ 93	371
当期純利益	5,583	13,234	6,282	13,615	+ 699	+ 381

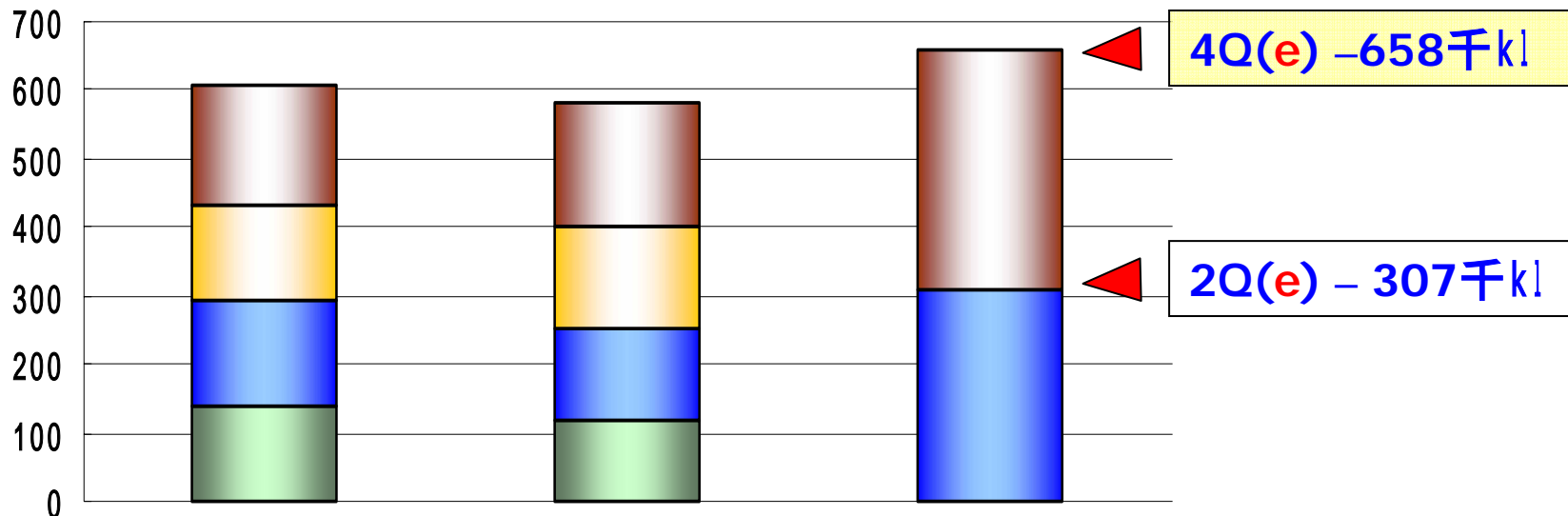
主な増益・減益要因

-  国産原油 由利原増産 寄与で数量増。堅調な油価背景に29億円の増収見込む。
-  探鉱費用 国内探鉱費 約22億円増加。
-  海外事業 オイルサンド事業の新規連結寄与するも、新規案件での引当金増加 (7 億円) を見込み 減益予想。
-  その他 前期の震災・除却費用等 消え、特別損益 10 億円改善。

06/3期 見通し

国産原油販売

千KL

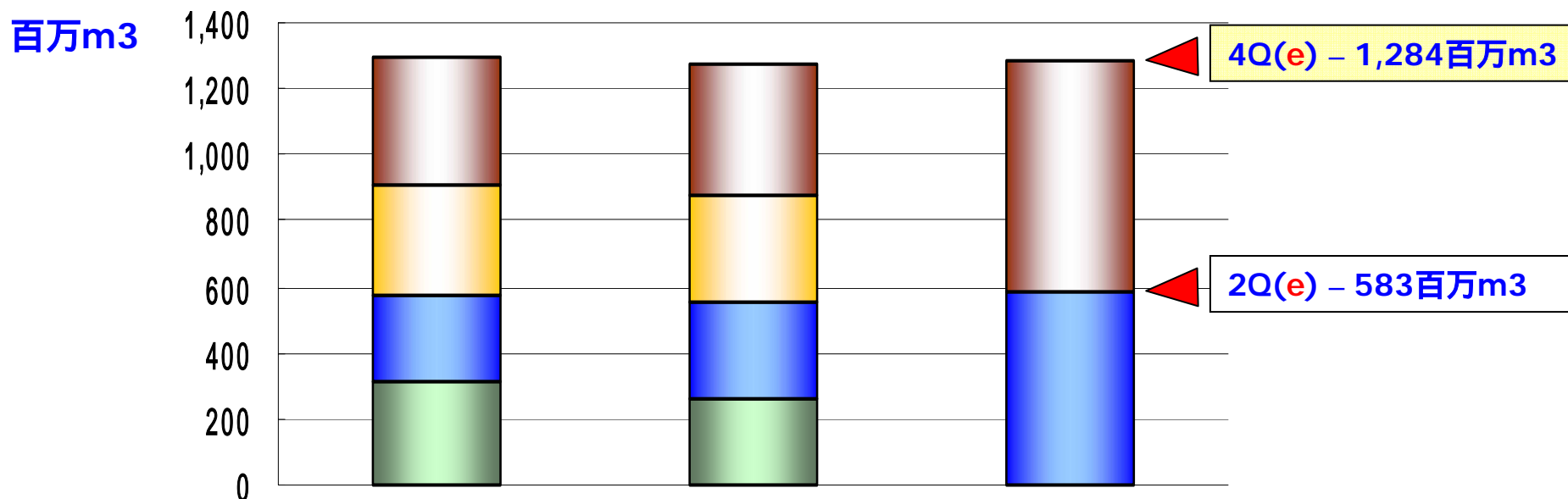


	04/3 (a)	05/3 (a)		06/3 (e)		増減 通期
	通期	中間期	通期	中間期	通期	
販売数量(千KL)	606	252	584	307	658	+73
単価(Yen/KL)	@21,071	@25,679	@26,023	@29,670	@27,613	+1,590
油価 CIF (\$/bbl)	29.37	35.24	38.18	44.00	42.00	+3.82
為替(Yen/\$)	113.71	109.34	107.26	104	102	5.26
売上高(百万円)	12,784	6,475	15,217	9,127	18,180	+2,962

注: 本資料における「国産原油」「国産天然ガス」の販売量及び売上高は、連結子会社(日本海洋石油資源開発株)からの仕入販売分を含む、当社単体決算の数値を記載している。

06/3期 見通し

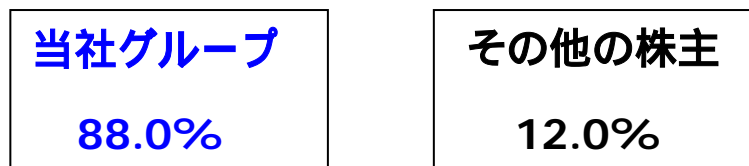
天然ガス販売



	04/3 (a)	05/3 (a)		06/3 (e)		増減 通期
	通期	中間期	通期	中間期	通期	
販売数量 (百万m3)	1,296	552	1,276	583	1,284	+ 8
売上高 (百万円)	42,560	16,568	39,867	17,501	40,153	+ 286
平均単価 (円/m3)	@32.83	@29.97	@31.22	@30.00	@31.26	+ 0.04
当社国産ガス 販売量	1,024	457	1,057	493	1,060	+ 3
〃 売上高	33,813	13,647	32,750	14,565	32,391	358

06/3期 見通し

オイルサンド事業 - 事業概要



日本法人 CANOS
カナダオイルサンド株式会社



現地法人 JACOS
Japan Canada Oil Sands Ltd.



カナダ、アルバータ州

99年 SAGD法による
試験生産開始

03年 商業生産に移行

オイルサンドとは？

超重質で高粘性の炭化水素 (API 8)

自噴しないため、特殊な技術 (SAGD法)で回収し、
軽質油で希釈後、API 21 の原油として販売。

SAGD 法とは？

1ペアの水平井を掘削、片方から蒸気を圧入して
流動性を高め、他方からピチューメンを生産する
最新の坑内回収技術。



06/3期 見通し

オイルサンド事業 - 連結の影響

連結PL影響額

1. JACOS 社の業績予想 (百万円)

売上高	5,516
売上総利益	2,552
探鉱費用	341
販管費	530
営業利益	1,682
経常利益	1,716
少数株主利益	205
当期純利益	1,509

2. 連結調整勘定償却額

1,097 百万円 (5年均等償却)

06/3 期の連結PL寄与

412 百万円

注 (1) JACOS 社の業績予想の前提は以下の通り。

年間販売量	約330万 bbl
販売価格前提	21カナダドル / bbl
為替前提	80円 / カナダドル

(2) 連結調整勘定償却額は、連結PL上では販管費で計上される。従ってJACOS自体の販管費と合わせ、06/3期の連結ベースの販管費が約16億円増加する要因になっている。

06/3期 見通し

海外プロジェクトの連結PL寄与

百万円

	04/3 (a)	05/3 (a)	06/3 (e)	備考
Japex (US) Corp.	連 -	連 734	連 1,025	
CANOS / JACOS	-	-	連 412	前ページ参照。
新南海石油開発	持 500	持 1,841	連 1,376	05/3期に海投損取崩 682百万円を含む。
ジャワ石油	持 273	持 315	連 258	
ユニバースガスアンドオイル	持 76	持 509	持 438	
その他の海外プロジェクト	112	347	65	05/3期にJapex Gulf Producingの海投損取崩 315百万円含む。
連結PL寄与 合計	737	3,748	3,444	

- 注 (1) 連 = 連結子会社、持 = 持分法適用会社。 持 新南海石油開発とジャワ石油は05/3期下期より連結。
- (2) 上表の数値は、連結子会社の当期純利益(少数株主利益を控除した数値)、持分損益のほか、事業損失引当金・海外投資等損失引当金の調整額、連結調整勘定の償却額等を含む。
- (3) 上表には、海外プロジェクト会社への新規出資に伴う海外投資等損失引当金の繰入額は含まない。

06/3期 見通し

連結PL変動要因

百万円	05/3 (a)	06/3 (e)	増減
売上高	103,150	96,897	6,253
売上総利益	42,104	47,654	+ 5,550
探鉱費	6,127	8,687	+ 2,560
販管費	21,298	23,672	+ 2,374
営業利益	14,678	15,295	+ 617
営業外損益	4,323	3,335	988
国内 (持分益)	373	316	+ 689
海外 (新規) *1	70	778	708
海外 (既存) *2	1,936	372	1,564
海外 (その他) *3	464	1,007	+ 543
その他	2,365	2,418	+ 52
経常利益	19,001	18,630	371
当期純利益	13,234	13,615	+ 381

国産原油販売 + 29.6 億円

国産ガス販売 3.6 億円

探鉱費の増加 22 億円
(オイルサンドの探鉱費除く)

オイルサンド事業連結による
営業利益増加 + 5.8 億円
(連調償却額とのネット)

海外 (新規) にかかる海投損引
当額の増加

引当金の取崩減

前期の震災関係費など、特別
損益の改善 + 9.9 億円

*1 海外プロジェクト会社への新規出資に伴う引当金の繰入額。

*2 海外既存プロジェクトの持分損益と引当金調整額の計。ただし連結子会社を除く。

*3 連結子会社に対する事業損失引当金の調整額並びに連結調整勘定償却額。

変動要因の説明は、増益要因を + で、
減益要因を - で記載。

06/3期 見通し

油価、為替のセンシティブリティ

油価前提 = 42 USD/bbl

1\$/bbl の油価上昇による
利益増加額は ……

営業利益	400 百万円
経常利益	400 百万円
当期純利益	250 百万円

為替前提 = 102 円/USD

5 円/\$ の円安による
利益増加額は ……

営業利益	800 百万円
経常利益	800 百万円
当期純利益	500 百万円

- 注** (1) 上記は、年間全体で想定されるネット・エクスポージャーに基づく参考値であり、実際の影響額は、販売・仕入の数量やタイミング等により変動する。
- (2) ビチューメンの販売価格は通常原油価格とは異なる動きを示すことが多いため、オイルサンド事業に関する油価変動の影響は、ここに示した数値には含まれていない。
- (3) 為替変動の影響に関して、上に示したものの以外に、当社及び連結子会社の保有する外貨預金(約65百万ドル)の為替レート換算差額が発生する(各四半期末毎の評価差額を営業外損益に計上)。